

国際会長主題	「フェロシップとインパクトで次の100年へ」	Samuel Chacko (インド)
アジア太平洋地域会長主題	「新しい時代とともに、エレガントに変化を」	Chen Ming Chen (台湾)
東日本区理事主題	「未来に向けて今すぐ行動しよう」	佐藤重良 (甲府21)
東新部部長主題	「All 東新部、始動! Change! 2022ラストスパート、ポスト2022始動」	深尾香子 (東京多摩みなみ)
クラブ会長主題	「心を尽くしてYMCAのために」	小川圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一
副会長
書記

2022年9月会報

強調テーマ

* E M C *

Extension Membership & Conservation

会計 小原 武夫
直前会長 峰 毅
担当主事 江尻 明子

↑今月の聖句

主に仕えるつもりなら、
自らを試練に向けて備えよ。
心を引き締めて耐え忍べ。
災難の時にも取り乱すな。
主に寄りすがり決して離れるな。

シラ 2:1-11

(峰 毅 選)

- | | |
|--|----------|
| 司会 | 峰 毅 君 |
| 1. 開会点鐘 | 小川 圭一 会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一 同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 小川 圭一 会長 |
| 4. 今月の聖句朗読 | 峰 毅 君 |
| 5. 暑かった夏を総括しメンバー皆さんのお話を伺い、1月7日の在京ワイズ新年会ホストとして、企画のご相談もあります。 | |
| 6. ハッピーバースデイ 9月2日 | 寺門 文雄 君 |
| 4日 | 佐藤 環さん |
| 15日 | 村野 繫 君 |
| 7. 結婚記念日 | なし |
| 8. ニコニコ献金 | |
| 9. 諸報告 | |
| 10. 閉会点鐘 | 小川 圭一 会長 |

※ 9月例会プログラム

とき 令和4年9月16日(金) 18:30~19:30
ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F
電話 03-3420-5361

ハイブリッド開催

8月のデータ	会員在籍	14名	例会出席者 8/19日(金)	8月のBF他献金	ニコニコファンド
	出席率	79%	会員	切手	
	第2例会	(中止)	メネット	現金	年度計
			イキャップ	累計切手	
			ゲスト		
			ビジター(含むzoom)		
			合計	2021~2022年度	
			すずらん会(中止)	自主献金については今期に限り	
			ゲスト	クラブからの献金とする	
			スタッフ		
			合計		
			新型コロナウイルスの影響で		

本日のメインプログラム

従来からの予定では、夏休みプログラムを乗り越えた若いキャンプリーダーの皆さんに貴重な体験の報告を聞かせていただくのですが。生憎今月は別プログラムと重なりまして、予定を急遽来月に延期しました。

そこで、暑かった夏を総括しメンバーの皆さんのお話を伺いたいと思います。もちろん、私も難病指定の病を得たり、コロナ陽性反応で10日間の自宅療養を経験しての体験談をご報告します。さらに、1月7日の在京ワイズ新年会ホストとして、企画のご相談もあります。

(小川 記)

※ 8月例会報告

(卓話要旨)

今年度より、東京 YMCA は事業部制への移行に伴い、事業を目的に沿って再編し、事業強化をはかる。

ということで、まず、秋田正人さんに組織改編の状況をお話いただきました。

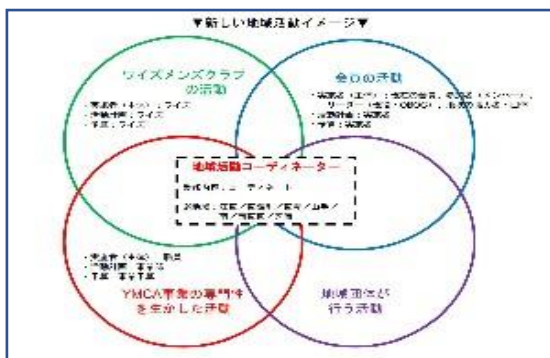


なぜ組織改編するのか？

何を変えるべきか、どういった視点で見直すか？

- 1 仕組み：組織の在り方と事業編成
 - 2 担う人：その質と量 そして働き方
 - 3 原資：人的、財的、物的基盤
- 事業ブランドのための組み替え ブランチ制 → 事業性へ

新しい地域活動イメージ



各地域活動を推進する役割として館長ではなく、「地域コーディネーター」を配置することになり、南エリアの拠点としては、南センターだけでなく保育園「ねがい」も含まれ、松本竹弘さんが担当されます。

現在、何が展開できるか手探り状態ではありますが、liby スタッフの押山さん、高橋さん。そして、秋田さんが世田谷地域の様々な施設等に顔をだし、話を聞き、地域のリソースの掘り起こしを始めました。



西荻窪から南センターに移動してきた「Liby」について、

高橋さん（ロベリ）、押山さん（セサミ）から、説明を。

西荻窪との違い、課題は、どう変えたら、。

南センターに移動して、

移動したことにより、距離的問題、車椅子利用で、南センター3階までは困難、と従来の参加者の継続が無理になったケースもある中、新たな参加者の居場所づくりを模索し、ボランティア募集を呼びかけ、現在4・5名の方々が参加。南センターとして出来る居場所づくりを目指している。

スタッフは、他の地域活動を見学できる機会がふえ結果、今後の課題が見えてきた。

出席者：

- (リアル) 岩崎、三浦、村野、松井、峰、小原
藤江 (たんぼぼ)、史奈子 (たんぼぼ)
(Zoom) 小川、寺門、渡邊、神谷 (西)、
今井園長 (保育園ねがい)

※ Liby アップス縁日に参加

8/27(土) 世田谷区立希望丘青少年交流センター アップス縁日が開催されました。

liby はミニパラシュートを作って遊ぶコーナーで出店しました。



ボランティアリーダー4名が来場者に作り方を教えたり、一緒に遊んだりして過ごしました。多くが小学生でしたが、25名の方との関わりを持ってました。YMCA とつながりのある大学教員の方や、アップスの職員の方、系列の青少年施設の方ともつながり、今後の展望はさらに広がったように感じます。

当日はワイズメンズクラブの皆さんも来て下さり、関係の深まりを感じました。

ありがとうございました。(高橋・ロベリ 記)

☀️ YMCA 保育園ねがい 今井園長より

コロナ対応で慌ただしい日々ではありますが、子どもたちは無事に来園し、菜園のゴーヤが実ったなど会話もできている。親子でガーデニングが出来たことなど、今の子供たちに必要なことは知識、考え方だけでなく、心を、体を育てることが大事。これからも、親子、高齢者の方々との関わりが出来ることを大切にしたい。



☀️ 会長通信 2209

先月の話し合いは、時間切れ消化不良の趣でした。クラブが最優先で取り組むべき YMCA の方向性やサポートの内容について、もう少し話し合いを続けたいと思います。

コロナ禍のために、話し合いとコンセンサス形成が不十分だと思いませんか。

会長 小川圭一

地球を一斉にキレイにする日

【WORLD CLEANUP DAY 2022】

ワールドクリーンアップデー

今年は 9月17日(土)

環境問題や地球規模のゴミ対策を呼び掛けるエストニアから始まった世界的な NGO 団体「Let's Do It! World」のネットワークで2018年から世界各国各地で同じ日(9月第3土曜日)に地球を一斉にキレイにする WORLD CLEANUP DAY 活動が実施されています。

この活動については、2020 - 2021 年度にワイズメンズクラブ国際協会の Week4Waste (ゴミのための週) プロジェクト委員長から私たちもこの活動に参加するよう呼びかけがあり、今年で3年目になります。

9月17日(土)に家の周り、街頭、公園、川、海辺、山などそれぞれの場所で、個人、ファミリー、グループ、クラブ、どのような集まりでも個人でも OK です。ゴミを取り除くだけでなく、環境美化活動に加わってくださいませんか? そして2023年4月の強調月間 Week4Waste プロジェクト(ゴミのための週)にはワイズのメンバーとしてどんな活動ができるか、今から準備してはいかがでしょうか。

(CS・Yサ事業委員 小原史奈子)

☀️ YMCA NEWS

1. 「第25回会員芸術祭」はHP上に作品の画像を掲載するオンライン方式で開催し、会員、職員、児童館や保育園の子どもたち、高等学院の生徒等から作品が寄せられた。絵画、写真、工芸、書道、手芸等 91

点の作品は9月末まで東京YMCAのHP上に公開されている。

2. 夏季プログラムは、6つの宿泊キャンプの他、デイキャンプ、水泳、語学スクールなど、入念な感染対策の上実施した。感染が拡大し続ける中での宿泊プログラムは、通常よりも体制の確保が必要であり、また体調不良者にも配慮しながらのプログラム実施となり、通常時よりも多くの労力を割きながらの実施となり、久しぶりの宿泊を伴うプログラムにリーダーたちも慣れない中で、また少人数でのスタッフ体制での運営に苦慮したが、大きな事故なく終えることができた。

一方で、プログラム実施に大きなフレンドシップファンダによる参加費補助により、経済的に困難なご家庭の子ども9人がプログラムに参加することができた。

3. 「第31回インターナショナル・チャリティーラン」
(アプリを使ったオンライン開催)

障害がある子どもたちが生き生きと生活を送ることができる社会の創設を願って毎都市、開催している。参加者が一堂に会し、駅伝形式で競技を楽しんでいたが、コロナ禍のため、アプリを利用したイベント開催となる。

チーム参加(1チーム10万)

2022年10月22日(土)～10月30日(日)

計9日間

個人参加(一人2,000円)

2022年10月15日(土)～10月22日(土)

計8日間

4. 9/23-25 全国リーダー研修会

5. @熊本YMCA阿蘇キャンプ

9/30-10/2 東日本区ユースボランティア

リーダーズフォーラム

@東京YMCA山中湖センター

全国のリーダーたちと生活を共にし、同じテーマで学びあうリーダー研修会が3年ぶりに対面で開催されることとなった。様々な心配も多くあるが多くの気づきがある機会になることを願い、東京からもフォーラム9名、全国リーダー研修会4名を送りだす予定である。

小学生時代の記憶というから、1920年代前半のころだろう。写真家の笹本恒子さんが朝、外に出ると、「戦争反対」と書いた赤い紙が垣根にべたべた貼ってある。一枚はがして母に見せると、こういわれた。「みんなはがして捨てなさい。主義者のしたことだから」▼大人は「社会主義者は怖い、悪い」と決めつける。戦争こそ人殺しで悪いことだ。それなのになぜ戦争に反対する彼らが悪いのか。人生初めての疑問はいつまでも頭に残ったという。「戦争は二度とごめんです」。女性の報道写真家の草分けとして激動の昭和期を記録しつづけた笹本さんが15日、107歳で亡くなった。▼戦争のさなかに写真家となり、カメラ片手に焼け跡を駆け回った。戦争孤児らに「ままちゃま」と慕われた社会事業家の沢田美喜、東京大空襲では先に立ち火を消した政治家の浅沼稻次郎、戦後初の総選挙で国会議員となる加藤シズエ——。庶民であれ政治家であれ、自分の道を究めた人、一隅を照らす人に光を当てた。▼服飾の仕事で自活する厳しい時代を経て71歳で写真を再開。昭和の肖像、明治生まれの女性というライフワークに取り組んだ。「一生懸命、働いて、働いて、日本の戦後の復興を支えた一部であったと自負している」と自署に書き残し、終戦記念日に逝った。いまの日本は笹本さんが目指したとおりの姿になったろうか。

日経・春秋より 2022.8.24

世田谷クラブ例会

Zoom ミーティングに参加する

<https://us02web.zoom.us/j/86010525780?pwd=VndQeG40WkNCOGsyZ1RUSIZQK29WUT09>

ミーティング ID: 860 1052 5780

パスコード: 304564

ワンタップモバイル機器